

板橋区立熱帯環境植物館

熱帯雨林はなぜ重要なのでしょうか

「生物多様性の宝庫」と呼ばれる熱帯雨林は、人間の活動によって大幅に減少しています。私たちの暮らしとは関係ない話と思うかもしれません、熱帯雨林の減少は気候変動の原因となり、多様な生物の生態系を破壊することにつながります。どんな問題があるのかな?

熱帯から遠く離れて暮らす私たちにできることは何か?一緒に考えてみませんか。

熱帯環境植物館は世界三大熱帯雨林の中から日本と密接な関係にある東南アジアの熱帯雨林を再現しています。地下の水族館では海水・汽水・淡水のいきものを展示し、温室・冷室では4つの植生ゾーンを表現しています。

海から高山帯へと続く一連の熱帯環境を立体的にご覧いただけます。

集落景観

植物の情報
はこちら



マレーハウスの周辺には人々の生活にかかわりの深い食用・薬用・香料に利用する植物がたくさんあります。



ミニ水族館

海水・汽水・淡水3種類の水域に分かれ、東南アジアを中心とした魚や生き物を展示しています。



雲霧林

植物の情報
はこちら



雨や霧の多い、熱帯の山地の環境を再現しています。ランや熱帯性のシャクナゲや食虫植物をご覧いただけます。



食虫植物 シャクナゲ ラン

熱帯低地林

植物の情報
はこちら



大木が生い茂る植物の宝庫です。ラワン材となるフタバガキ科の植物や絞め殺しの木アコウが育っています。



アコウ ヒスイカズラ ビヨウタコノキ

